

## みんなで大きな流れを変えていこう 非正規全国学習交流集会・介護分科会

全労連介護・ヘルパーネットは6月9日、10日の両日、東京で開催された全労連の非正規全国学習交流集会の2日目、介護の分科会を担当しました。5単産12地方から31人が参加し、制度について学び、現場実態や活動を交流しました。



### 制度改悪について学び、現場実態を交流

非正規集会では1日目、元文科省事務次官・前川喜平さんによる「『教育と貧困』を考える」と題する講演と、全労連非正規センター・仲野事務局長の行動提起のあと、北海学園の川村正則さんをコーディネーターにトークセッション「貧困と格差の是正～動けば変わる～」をおこない各地のたたかいを交流しました。2日目は13分科会に分かれ交流。「介護報酬改定後の現場の実態と介護保険のこれから」と題して行われた分科会

では、ヘルパーネット世話人の西銘さん（東京医労連）が、安倍政権の社会保障削減、医療と介護の一体改革の中身と、2018年介護報酬改訂など、介護にかかわる制度改悪について問題提起。参加者からは「共生型」サービスや総合事業、生活援助の回数制限についての質問が出されました。

続いて、現場実態の交流をおこないました。「地域密着型通所介護で総合事業をやっているが経営が持たない。人の入れ代わりが激しく組織化も難しいし、利用者にも悪影響」「通所介護で通常規模に変更したが赤字続き」「総合事業の居場所サロン。総合事業になっても有資格ヘルパーが訪問しており事業経営が難しい。生活援助は難しく2日間の研修でできるものではない」など厳しい実態が交流される一方、「静岡県評が音頭をとっていきいき介護連絡会を作った、介護カフェを2ヶ月に1回やり組織化」などの経験が話され、そこで組合員になった殻も参加していて、「特養で要介護3以上とされて経営困難。処遇改善も1回でただけ」など発言していました。処遇改善加算の周知義務について知らなかったり、取っていない事業所からの参加者にとるように伝えたりといった交流もされました。

### 大本に無関心で現場を変えようとしても良くない 政策転換を迫る運動に力を発揮しよう

その後、助言者から社会保険料負担や消費税など負担は増えているのにサービスが削られているのはなぜか考えてみようという提起があり、参加者から、「社会保障費が削減されているが、防衛費は増えている。トヨタには毎年2000億円もの戻し税がある」などの発言がありました。20年後30年後に良い介護を望むなら、「自分の事として考えること、利用者さんのことを考えながら、大きな方向を変えるためにサウンドデモをしたり、国会前に行ったり、新聞に投稿したり、組織拡大をすることが必要だ。」などの発言がありました。

最後に助言者から「職場にとどまっただけでは大きな流れは変えられない。2017年推計介護労働者

は183万人。組合に入っている人は10万人いるかいないかというのが現実だ。労働組合とつながりながら声を上げていく、学習することが大事だ。大本に無関心で現場を変えようとしても良くならない。すごく見えづらいけどそこを変えていく、運動を作る側に私たちが回らなければ誰もやってくれない。運動を作る側に皆さんの力を発揮してほしい」と訴え。西銘さんから「介護を受ける利用者はなかなか声を上げられる状況にない。利用者の声、自分たちの労働条件、事業を守るために、安倍さんの『介護を変える』方向性を変えていこう」とまとめがありました。



参加者は分科会の後、「貧困なくせ」「格差をなくせ」と水道橋までサウンドデモをしました。

参加者の感想（抜粋）

- とっても勉強になりました。介護のあらゆるサービス提供によって保険制度が変わり続け、それどころか引き下げたりしているから私たちの生活人色々様々でも、こんな風に乗っているからこそ職場で労働組合を広めて全国のかたがたに伝えていきましょう(鹿児島県40代女性・アルバイト・初参加)
- 介護保険制度の相次ぐ改悪による現場への悪影響について生の声を聴けてよかった。本来あるべき介護、社会保障の実現に向け国の責任を追及する運動を強めていく必要があると改めて感じました。政治を変えるのが一番手っ取り早い。(千葉、50代男性。正規。)
- 今の制度改革は無理やり介護サービスを受けられなくなるようにする仕組みをつくりあげている気がします。改革ではなく縮小と削減という言葉が当てはまると思います。これでは今まで保険料を支払ってきた人がサービスを受けられなくなるような仕組みがつくりあげられようとしています。私たちの税金がトヨタなどの大企業に流れていっているお話もありました。高齢者がそんなことを知ったら怒ると思います！！税金の使い道をわかりやすく明らかにし、改善・見直しが必要だと思います。(大阪・50代・嘱託勤務・女性組合員・2回目)
- 特養に勤めて15年になります。スタッフが辞めたりする。異動もあって処遇改善手当が支給されず仕事量は増えることが続いたこともあってその施設はやめました。今年openの特養に新たに仕事始めたんですが、先行きの見通しは本当に変わらず不安になる。どの方も不安はある中で意見を出すことで、今後の進み方などもやもやした気持ちが言えるところがあるのはよいことだと感じた。今後も参加して知識をいれて活用していきたいと感じました。(静岡・女性・自治労連・正規・初参加)

## “名ばかり管理職”月183時間の過重労働でうつ発症

### (株) ツクイ裁判証人尋問

業界大手の(株)ツクイに対する残業代の支払いと損害賠償を求める裁判の証人尋問が6月8日、東京地裁でおこなわれました。原告のAさんは、会社が必要な人員を補充しないため、長時間労働と過重なノルマでうつ病を発症し退職に追い込まれたとして昨年9月、介護サービス事業大手「株式会社ツクイ」を東京地裁に提訴しました。労働者への安全配慮義務を怠ったとして、損害賠償と未払い残業代を請求しています。加入した東京公務公共一般労組で団体交渉を続けてきましたが、会社は求めに応じず提訴に踏み切ったものです。

激務が始まったのは、施設の1階部分(1ユニット9人)だけでなく2階も開所してから(2ユニット18人)。人員不足のため管理業務に加えて現場の介護業務も兼務し、月の労働時間は183時間、夜勤明けの営業や、72時間連続での勤務もありました。4月のある日、夜勤のあと職場で体調が悪くなり、帰宅できないまま翌朝、救急病院に駆け込みましたが体調は改善せず、6月に同社を退職しました。

証人尋問では、Aさんの娘さんが証人に立ち、泊まり勤務が続いたことや、だんだん追い詰められていくAさんの様子などを生々しく証言しました。Aさんも証人に立ち、裁判長の質問に対し、2月には複数回、本社の相談窓口の人に人を増やしてくれと頼んだが入れてくれなかったことや、会社による2ユニット化の方針を達成するために入所者の募集を続けたことなどを証言しまし



た。会社側証人のエリアマネージャーと東日本統括は、Aさんが2ユニット化にむけての入所者募集を勝手にすすめたという主張を繰り返しましたが、2ユニット化についての方針を立てたのは会社であり、自治体に提出をする指定申請もAさんではなくエリアマネージャーがおこなっていたことなどが明らかにされました。27日は第一回和解期日で原告、被告双方が和解条件について話し合います。働くもののいのちと健康を守る東京センター副理事長の色部さんは「過大なノルマで労働者を追い込んだ会社が、労働者が勝手にやったことにするなど許されない」と述べています。

## #介護に笑顔と希望を キャンペーン！

介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン  
作成者: かいごのぞみ [?] · 6月5日 18:30

介護を良くするアクション月間！  
コープ石川労働組合の皆さん  
船登までバスでイチゴ狩り！  
#介護に笑顔と希望を



88人にリーチしました

介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン  
作成者: かいごのぞみ [?] · 6月5日 18:30

介護を良くするアクション月間！  
ユーコープ労働組合の皆さん



介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン  
作成者: かいごのぞみ [?] · 5月28日 18:30

介護を良くするアクション月間実施中！  
京都市民医労東支部のみなさん。  
執行委員会後に医療、介護現場で働く仲間と撮りました。これからも、介護のやりがいや、楽しさ、そして、労働組合を拡げていきたいです。#介護に笑顔と希望を



173人にリーチしました

投稿を宣伝

介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン  
作成者: かいごのぞみ [?] · 5月24日

介護を良くするアクション月間実施中！岡山県医労連の皆さんです。  
岡山県要請のときに県庁舎の中でハイチーズ！（岡山市にも要請に行きました）  
#介護に笑顔と希望を



97人にリーチしました

投稿を宣伝

介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン  
作成者: かいごのぞみ [?] · 5月24日

介護を良くするアクション月間実施中！北海道動医労執行委員会介護部会あとのパチリ。  
全産業平均より月額10万円も低い賃金が全産業平均なみ上がった？



156人にリーチしました

投稿を宣伝

介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン  
作成者: かいごのぞみ [?] · 5月24日

介護を良くするアクション月間実施中！コープあいちの皆さん。愛知メーデーに参加しました。#介護に笑顔と希望を



53人にリーチしました

投稿を宣伝